



平成17年度第3回理事会議事録

日時：5月14日(土) 13:00-14:00

場所：ホテル機山館 雅の間

(東京都文京区本郷4-37-20)

出席理事：浅島、佐藤、阿形、山本、片倉、窪川、松野、寺北、岡、吉田、八杉、長濱、小泉、大島、松田、豊田、笹山、藤、馬渡

岡庶務理事より出席者20名(委任状2名を含む)で定足数を満たしているおり、理事会が成立していることが報告された。浅島会長により開会宣言と開会の挨拶が行なわれた。浅島会長が議長を務め、議事録署名人として岡良隆庶務幹事、寺北明久会計幹事が推薦され了承された。

Ⅰ. 報告事項

1. 会長報告

浅島会長より、学会事務センターの倒産に伴い生物系12学協会との話し合いがもたれたこと、輸入動物届け出制度に関する要望に学会として賛同したこと、が報告された(詳細は八杉渉外担当理事が報告)。

2. 日本学術会議報告

星学術会議委員(代理浅島会長)より、第19期学術会議から内閣府に主幹が移ったこと、会議が人文系、理工系、生命科学系の3系より成り、生命系は医学系、農学系、基礎生命系の3分野に分かれていることなどが報告された。

3. 庶務報告

岡庶務理事より、支部報告の様式について、社団法人として文科省に報告する支部活動の報告の定型化を図ることにしたので、今後この様式で提出してほしい旨依頼があった。

4. 会計報告

寺北会計理事より、平成17年度科研費について、定期刊行物事業に対して1,450万円、データベース作成事業に対して780万円の助成金の交付が内定したことが報告された。また、玉手評議員より、データベー

ス作成事業に関して、学術資料データベース作成として Zoological Science を Vol. 1 までさかのぼってデータベース化するという説明があった。

5. 平成17年度第76回大会(筑波大学)準備状況報告

高橋(三保子)評議員より、平成17年度第76回(筑波)大会が平成17年10月6-8日の日程で、筑波国際会議場で開催され、一般発表はポスター発表のみ3日間行うこと、動物学ひろばは8-9日に「筑波科学フェスティバル」の中で行われること、高校生の研究発表会が大会3日目午後に行われること、市民向けの一般講演会も行うこと、などの報告があった。また、豊田理事より、本部企画として、就職活動の支援の一環として求職・求人ボードを設置することが報告された。

6. 平成18年度第77回大会(島根大学)準備状況報告

松野評議員より、平成18年度第77回大会が島根大学松江キャンパスを中心に開催予定であるが、日程については検討中であることが報告された。

7. 平成19年度第78回大会(東北支部)について

玉手評議員より、東北支部で開催引き受けが可能であることが報告された。

8. 動物学推進将来計画委員会報告

阿形理事より、第1回将来計画委員会において、学会ホームページの重点活用を図るため、その体裁とデータベース化を図るという提案がなされたこと、それに関してホームページに関するワーキンググループを設置したいという希望が出されたこと、が報告された。

9. 教育担当理事報告

松田理事より、JSTが行っている「理科大好きプラン」の事業であるSPP、SSH等の事業について、文科省より講師推薦の仲介を動物学会にしてほしいという依頼が来ており、講師仲介の場を作りたいという希望があることが報告された。

10. 図書担当理事報告

小泉理事より、第6期将来計画委員会(長濱前委員長)において発行が決定した「21世紀の動物学」シリーズ全10巻の出版計画について、培風館から出版されることが決定されたこと、今後執筆者を決定して出版を進める予定であること、が報告された。

11. Zoological Science 編集主幹報告

長濱理事より、ZS編集体制について、editorを4名に減らして密接に編集方針を相談するようにしたこと、編集事務職員を1名雇用して電子投稿・査読化を進めており、投稿が増えていること、多様性生物学関

連の投稿論文が多いため浅見崇弘（信州大学）会員を editor として依頼したこと、copy editor を 1 名定めて英文校閲をお願いしていること、などが報告された。

12. 電子投稿査読システム開始について

岡編集委員・理事より、Zoological Science の電子投稿査読システムについて、ScholarOne 社の Manuscript Central のシステムの導入準備を開始し、現在テスト投稿・査読を行っていることが報告された。

13. 広報担当理事報告

大島理事より、学会 Web サイトの再構築をレタープレス社に外注すること、生物科学ニュースの内容を掲載する予定であること、7 月から仮公開を始める予定であること、同時に生物科学ニュース Z 版は発展的解消とする予定であること、が報告された。

14. ガイアリスト委員会報告

馬渡理事より、筑波大会の 3 日目にガイアリスト関連のシンポジウムを開催することが報告された。

15. 渉外担当理事報告

八杉理事より、学会事務センターの倒産以来活動が停止していた生物科学連合連絡会議が再開し、メディア・イシュに事務を委託する旨の提案があったので、動物学会として賛同するようにしたこと、輸入動物届け出制度に関する要望に学会として賛同したこと、が報告された。

16. その他

● 科研費審査員の情報提供について

岡庶務理事より、今年度から科研費審査員の決定法が変更され、学術振興会の学術システム研究センターにおいて決定されるようになったこと、については審査員候補者データベースに関する学会からの情報提供を学振が 2 月に受け付けるので、その方法などについて今後検討してほしい旨の提案があった。

● 個人情報保護法について

岡庶務理事より、4 月 1 日からの個人情報保護法が施行されていることに関連して、個人情報の保護のために、学会ホームページ上の会員検索を一時停止することが報告された。

II. 審議事項

第 1 号議案 江上基金授与者について

長濱学会賞等選考委員長より、今年より 7 名となった選考委員（長濱、真行寺、蟻川、今福、八杉、西川、七田）によって選考が行われたことが報告された。 4

名の応募者の中から、

- 塚田岳大（東京大学海洋研究所）15th International Congress of Comparative Endocrinology Boston, USA 出席
 - 杉本 薫（東京大学総合文化研究科、博士課程 3 年）15th International Society of Developmental Biologists Congress, Sydney, Australia 出席
- の 2 名が受賞候補者として推薦されたことが報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第 2 号議案 動物学会 OM 賞について

星 OM 賞選考委員長（代理大島選考委員）より、選考の結果、5 名の応募者の中から、

- 杉浦真由美（奈良女子大学大学院人間文化研究科）「無脊椎動物の lasp family タンパク質の機能解析」
- 寺崎朝子（千葉大学大学院自然科学研究科）「原生動物纖毛虫プレファリズムマにおける有性生殖開始機構の解明」

の 2 名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第 3 号議案 論文賞について

道端 Zoological Science 前主幹（代理長濱現主幹）より、2004 年 Zoological Science に掲載されたすべての論文の中から、

- Kobayashi, Y., Kobayashi, T., Nakamura, M., Sunobe, T., Morrey, C. E., Suzuki, N. and Nagahama, Y. *Characterization of two types of cytochrome P450 aromatase in the serial-sex changing gobiid fish, Trimma okinawae. Zoological Science*21: 417-425 (2004)
- Akiyama, T. *Entrainment of the circatidal swimming activity rhythm in the cumacean Dimorphostylis asiatica (Crustacea) to 12.5-hour hydrostatic pressure cycles Zoological Science*21: 29-38 (2004)
- Inoue, T., Kumamoto, H., Okamoto, K., Umesono, Y., Sakai, M., Sanchez Alvarado, A. and Agata, K. *Morphological and functional recovery of the planarian photosensing system during head regeneration Zoological Science*21: 275-283 (2004)
- Umezu, T. and Tomooka, Y. *An evidence of stromal cell populations functionally linked with epithelial cell populations In the mouse*

*oviduct Zoological Science*21: 319-326 (2004)

の4件が受賞候補として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。また、藤井賞の選考について、候補論文に選考委員が入っているため当該委員を除外し、新たに2名を選考委員として追加することが提案され、承認された。

第4号議案 日本動物会奨励賞について

長濱学会賞等選考委員長より、選考の結果、6名の応募者の中から、

- 日下部岳広 (兵庫県立大学・大学院生命理学研究科)「ホヤにおける遺伝子発現制御と遺伝子進化に関する研究」
- 田中幹子 (東京工業大学・大学院生命理工学研究科)「脊椎動物に四肢を獲得させたボディプランへのアプローチ」

の2名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第5号議案 日本動物学会賞について

長濱学会賞等選考委員長より、選考の結果、10名の応募者の中から、

- 倉谷 滋 (理化学研究所・発生・再生科学総合研究センター)「脊椎動物の、主として頭部形成に関わる進化発生学的研究」
 - 小林 悟 (自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター)「ショウジョウバエにおける生殖細胞形成機構の解明」
 - 松井正文 (京都大学大学院・人間環境学研究科)「両生類の多様性、自然史および保全に関する研究」
- の3名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告された。受賞候補者が原則2名のところを3名とする点も含め、審議の結果全会一致で承認された。

第6号議案 感謝状贈呈について

高橋三保子評議員(代理浅島会長)より、筑波大学下田臨海実験センターの土屋泰孝技術専門職員について感謝状贈呈の候補者として推薦することが提案された。配布資料を基に説明があり、審議の結果全会一致で承認された。

その他

- Zoological Science 頁スタイルの変更について
長濱 ZS 主幹より、Zoological Science 頁スタイル

の変更について、文字を小さくし体裁を変更することが現在検討されている旨の報告があった。

- Zoological Science のグリーンジャーナル化について
永井事務局長より国際的な学術誌のグリーンジャーナル化についての説明があり、ZS 編集委員会及び将来計画委員会を中心として今後対応を検討することになった。

第4回理事会は、5月14日午後1時より開催される予定である。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成17年5月14日

議長	浅島 誠
議事録署名人	岡 良隆
議事録署名人	寺北明久

平成17年度第2回評議員会議事録

日時：5月14日(土) 14:30-17:30

場所：ホテル機山館(東京都文京区本郷4-37-20)

出席評議員：片倉、見上、玉手、松田、岡、八杉、菊山、中村、高橋(三)、笹山、長濱、吉国、今福、沼田、阿形、富岡、松野、道端、藤、小泉、蟻川

岡庶務理事より出席者30名(委任状9名)で定足数を満たしており、評議員会が成立していることが報告された。浅島会長により開会宣言と開会の挨拶が行われた。八杉貞雄評議員が議長に選出された。八杉評議員会議長により、議事録署名人として岡良隆庶務幹事、寺北明久会計幹事が推薦され了承された。

Ⅰ. 報告事項

1. 会長報告

浅島会長より、学会事務センターの倒産に伴い生物系12学協会との話し合いがもたれたこと、輸入動物届け出制度に関する要望に学会として賛同したこと、が報告された(詳細は八杉渉外担当理事が報告)。

2. 日本学術会議報告

星学術会議委員(代理浅島会長)より、第19期学術会議から内閣府に主幹が移ったこと、会議が人文系、理工系、生命科学系の3系より成り、生命系は医学系、

農学系、基礎生命系の3分野に分かれていることなどが報告された。

3. 庶務報告

岡庶務理事より、支部報告の様式について、社団法人として文科省に報告する支部活動の報告の定型化を図ることにしたので、今後この様式で提出してほしい旨依頼があった。

4. 会計報告

寺北会計理事より、平成17年度科研費について、定期刊行物事業に対して1,450万円、データベース作成事業に対して780万円の助成金の交付が内定したことが報告された。また、玉手評議員より、データベース作成事業に関して、学術資料データベース作成として Zoological Science を Vol. 1 までさかのぼってデータベース化するという説明があった。

5. 平成17年度第76回大会（筑波大学）準備状況報告

高橋三保子評議員より、平成17年度第76回（筑波）大会が平成17年10月6-8日の日程で、筑波国際会議場で開催され、一般発表はポスター発表のみ3日間行うこと、動物学ひろばは8-9日に「筑波科学フェスティバル」の中で行われること、高校生の研究発表会が大会3日目午後に行われること、市民向けの一般講演会も行うこと、などの報告があった。また、豊田理事より、本部企画として、就職活動の支援の一環として求職・求人ボードを設置することが報告された。

6. 平成18年度第77回大会（島根大学）準備状況報告

松野評議員より、平成18年度第77回大会が島根大学松江キャンパスを中心に開催予定であるが、日程については検討中であることが報告された。

7. 平成19年度第78回大会（東北支部）について

玉手評議員より、東北支部で開催引き受けが可能であることが報告された。

8. 動物学推進将来計画委員会報告

阿形理事より、第1回将来計画委員会において、学会ホームページの重点活用を図るため、その体裁とデータベース化を図るという提案がなされたこと、それに関してホームページに関するワーキンググループを設置したいという希望が出されたこと、が報告された。

9. 教育担当理事報告

松田理事より、JSTが行っている「理科大好きプラン」の事業である SPP, SSH 等の事業について、文科省より講師推薦の仲介を動物学会にしてほしいという依頼が来ており、講師仲介の場を作りたいという希

望があることが報告された。

10. 図書担当理事報告

小泉理事より、第6期将来計画委員会（長濱前委員長）において発行が決定した「21世紀の動物学」シリーズ全10巻の出版計画について、培風館から出版されることが決定されたこと、今後執筆者を決定して出版を進める予定であること、が報告された。

11. Zoological Science 編集主幹報告

長濱理事より、ZS 編集体制について、editor を4名に減らして密接に編集方針を相談するようにしたこと、編集事務職員を1名雇用して電子投稿・査読化を進めており、投稿が増えていること、多様性生物学関連の投稿論文が多いため浅見崇弘（信州大学）会員を editor として依頼したこと、copy editor を1名定めて英文校閲をお願いしていること、などが報告された。

12. 電子投稿査読システム開始について

岡編集委員・理事より、Zoological Science の電子投稿査読システムについて、ScholarOne 社の Manuscript Central のシステムの導入準備を開始し、現在テスト投稿・査読を行っていることが報告された。

13. 広報担当理事報告

大島理事より、学会 Web サイトの再構築をレタープレス社に外注すること、生物科学ニュースの内容を掲載する予定であること、7月から仮公開を始める予定であること、同時に生物科学ニュース Z 版は発展的解消とする予定であること、が報告された。

14. ガイアリスト委員会報告

馬渡理事より、筑波大会の3日目にガイアリスト関連のシンポジウムを開催することが報告された。

15. 渉外担当理事報告

八杉理事より、学会事務センターの倒産以来活動が停止していた生物科学連合連絡会議が再開し、メディア・イシューに事務を委託する旨の提案があったので、動物学会として賛同するようにしたこと、輸入動物届け出制度に関する要望に学会として賛同したこと、が報告された。

16. その他

● 科研費審査員の情報提供について

岡庶務理事より、今年度から科研費審査員の決定法が変更され、学術振興会の学術システム研究センターにおいて決定されるようになったこと、については審査員候補者データベースに関する学会からの情報提供を学振が2月に受け付けるので、その方法などについて

今後検討してほしい旨の提案があった。

●個人情報保護法について

岡底務理事より、4月1日からの個人情報保護法が施行されていることに関連して、個人情報の保護のために、学会ホームページ上の会員検索を一時停止することが報告された。

II. 審議事項

第1号議案 江上基金授与者について

長濱学会賞等選考委員長より、今年より7名となった選考委員（長濱、真行寺、蟻川、今福、八杉、西川、七田）によって選考が行われたことが報告された。4名の応募者の中から、

- 塚田岳大（東京大学海洋研究所）15th International Congress of Comparative Endocrinology Boston, USA 出席
- 杉本 薫（東京大学総合文化研究科、博士課程3年）15th International Society of Developmental Biologists Congress, Sydney, Australia 出席

の2名が受賞候補者として推薦されたことが報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第2号議案 動物学会 OM 賞について

星 OM 賞選考委員長（代理大島選考委員）より、選考の結果、5名の応募者の中から、

- 杉浦真由美（奈良女子大学大学院人間文化研究科）「無脊椎動物の lasp family タンパク質の機能解析」
- 寺崎朝子（千葉大学大学院自然科学研究科）「原生動物繊毛虫ブレファリズムマにおける有性生殖開始機構の解明」

の2名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第3号議案 論文賞について

道端 Zoological Science 前主幹（代理長濱現主幹）より、2004年 Zoological Science に掲載されたすべての論文の中から、

- Kobayashi, Y., Kobayashi, T., Nakamura, M., Sunobe, T., Morrey, C. E., Suzuki, N. and Nagahama, Y. *Characterization of two types of cytochrome P450 aromatase in the serial-sex changing gobiid fish, Trimma okinawae. Zoological Science*21: 417-425 (2004)

- Akiyama, T.

*Entrainment of the circatidal swimming activity rhythm in the cumacean Dimorphostylis asiatica (Crustacea) to 12.5-hour hydrostatic pressure cycles Zoological Science*21: 29-38 (2004)

- Inoue, T., Kumamoto, H., Okamoto, K., Umesono, Y., Sakai, M., Sanchez Alvarado, A. and Agata, K. *Morphological and functional recovery of the planarian photosensing system during head regeneration Zoological Science*21: 275-283 (2004)

- Umezu, T. and Tomooka, Y.

*An evidence of stromal cell populations functionally linked with epithelial cell populations In the mouse oviduct Zoological Science*21: 319-326 (2004)

の4件が受賞候補として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。また、藤井賞の選考について、候補論文に選考委員が入っているため当該委員を除外し、新たに2名を選考委員として追加することが提案され、承認された。

第4号議案 日本動物会奨励賞について

長濱学会賞等選考委員長より、選考の結果、6名の応募者の中から、

- 日下部岳広（兵庫県立大学・大学院生命理学研究科）「ホヤにおける遺伝子発現制御と遺伝子進化に関する研究」
- 田中幹子（東京工業大学・大学院生命理工学研究科）「脊椎動物に四肢を獲得させたボディプランへのアプローチ」

の2名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過の説明と共に報告され、審議の結果全会一致で承認された。

第5号議案 日本動物学会賞について

長濱学会賞等選考委員長より、選考の結果、10名の応募者の中から、

- 倉谷 滋（理化学研究所・発生・再生科学総合研究センター）「脊椎動物の、主として頭部形成に関わる進化発生学的研究」
 - 小林 悟（自然科学研究機構・岡崎統合バイオサイエンスセンター）「ショウジョウバエにおける生殖細胞形成機構の解明」
 - 松井正文（京都大学大学院・人間環境学研究科）「両生類の多様性、自然史および保全に関する研究」
- の3名が受賞候補者として推薦されたことが選考経過

の説明と共に報告された。受賞候補者が原則2名のところを3名とする点も含め、審議の結果全会一致で承認された。

第6号議案 感謝状贈呈について

高橋三保子評議員（代理浅島会長）より、筑波大学下田臨海実験センターの土屋泰孝技術専門職員について感謝状贈呈の候補者として推薦することが提案された。配布資料を基に説明があり、審議の結果全会一致で承認された。

以上

定款30条の規定により、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め署名する。

平成17年5月14日

議長	八杉貞雄
議事録署名人	岡 良隆
議事録署名人	寺北明久

会員異動

所属支部番号

1.北海道, 2.東北, 3.関東, 4.中部, 5.近畿, 6.中国・四国, 7.九州, 8.海外

新入会（6月10日現在）

宮戸真美（3；102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20 日本歯科大学歯学部解剖第一講座）／中西浩一（5；560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻系統進化化学研究室）／横堀伸一（3；192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部分子生命科学科）／山家秀信（7；905-0227 沖縄県国頭郡本部町瀬底3422番地 琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所中村将研究室）／増本三香（3；386-2201 長野県小県郡真田町長1278-294 筑波大学菅平高原実験センター 筑波大学生命環境科学研究科構造生物学専攻）／酒井 翼（5；618-8503 大阪府三島郡島本町若山台1-1-1 （財）サントリー生物有機科学研究所）／裏山悟司（5；630-0101 奈良県生駒市高山町8916-5 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科）／堀田耕司（3；223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部生命情報学科生物物理神経情報研究室）／土居原拓也（6；791-0295 愛媛県東温市志津川 愛媛大学医学部統合生命科学講座解剖学発生学分野）／味口裕仁（4；791-0295 愛媛県温泉郡重信町志津川 愛媛大学大学院医学系研究科形態系専攻統合生命科学講座解剖学・発生学分野）／若林香織（4；930-0855 富山県富山市五福3190 富山大学理工学研究科生物学専攻小松研究室）／中尾啓子（3；160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部生理学教室）／中村あぐり（3；300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 茨城大学大学院農学研究科動物細胞工学研究室）／米 耕平（1；069-8501 北海道江別市文京代緑町582番地 酪農学園大学生物学研究室）／Delago Antonia（1；060-0812 札幌市北区北12条西6丁

目 北海道大学電子科学研究所神経情報研究分野）／山本 翼（1；069-8501 北海道江別市文京台緑町582 酪農学園大学酪農学部酪農学科生物科学研究室）／林要喜知（1；078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1-1-1 旭川医科大学医学部生命科学）／北沢千里（6；753-8513 山口県山口市吉田1677-1 山口大学教育学部理科教育教室）／高野 薫（3；305-8579 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院数理物質科学研究科物性分子工学専攻）／広瀬雅人（1；060-0810 北海道札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻系統進化化学講座I 北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻系統進化化学講座I）／沖山圭佑（3；102-0094 東京都千代田区紀尾井町7-4 上智大学生物化学研究室 上智大学大学院理工学研究科化学専攻生物化学研究室）／平林奈保子（3；112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学理学部生物学科根本研究室）／中村好徳（5；631-8505 奈良県奈良市中町3327-204 近畿大学農学部）／樺山明日香（6；739-8526 広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻分子遺伝学研究室）／吉元英一（4；464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻パターン形成学グループ）／松本珠実（6；753-8512 山口市吉田1677-1 山口大学自然情報科学科発生生物学研究室）

住所・所属変更（6月10日現在）

浦野吉正（3→3；203-0041 東京都東久留米市野火止2-1-44 東京都立久留米西高等学校）／小林 亨（4→4；516-0423 三重県度会郡玉城町昼田224-1 独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所）／原 正幸（6→3；113-8510 文京区湯島1-5-45 東京医科歯科大学先端研究支援センターアイトソープ総合センター）／森沢正昭（3→2；990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学理学部生物学科）／佐々木潤（1→1；051-0013 北海道室蘭市舟見町1丁目133-31 北海道立函館水産試験場室蘭支場）／森岡清和（3→3；113-8613 文京区本駒込3-18-22 東京都臨床医学総合研究所電子顕微鏡室腫瘍生化学部門腫瘍生化学部門）／阿形清和（5→5；606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科生物科学専攻生物物理学教室分子発生学講座）／沢田美智子（1→1；305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 中央第22-1 独立行政法人産業技術総合研究所評価部低温生物化学部生物化学研究室）／長谷川宏幸（3→4；409-0193 山梨県上野原市八つ沢2525 帝京科学大学理工学部バイオサイエンス）／尾崎浩一（5→6；690-8504 島根県松江市西川津1060 島根大学生物資源科学部生物科学科）／箕田康一（1→6；769-2193 香川県さぬき市志度1314-1 徳島文理大学香川校一般教育）／奥澤公一（4→8；Tigbauan5021, Iloilo, Philippines 東南アジア水産開発センター養殖部局）／佐竹伸一郎（4→4；444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山5-1 自然科学研究機構生理学研究所生体情報研究系神経シグナル研究部門）／後藤徹哉（3→3；192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学生命科学部分子細胞生物学教室多賀谷研究室）／三枝 聖（2→2；020-0015 岩手県盛岡市本町通3丁目16-1 岩手医科大学教養部生物学科）／磯辺ゆう（5→5；635-8530 大和高田市東中127 奈良文化女子短期大学）／小野里坦（4→4；390-1241 松本市新村2904 株式会社松本微生物研究所）／知見聡美（3→4；444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38 大学共同利用機関法人自然科学研究機構生理学研究所生体システム）／茂木和枝（3→3；259-1293 平塚市土屋2946 神奈川大学

総合理学研究)／松本英子(3→3;350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町大字毛呂本郷38 埼玉医科大学医学部解剖学教室)／深見裕伸(4→5;649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)／廣瀬慎美子(4→7;903-0213 沖縄県西原町千原1番地 琉球大学理工学研究科21世紀COEプログラム・日高研)／寺島 潤(8→2;980-8578 仙台市青葉区荒巻東北大学大学院薬学研究科 東北大学大学院薬学研究科)／庄島圭介(5→5;567-0008 大阪府茨木市西安威2-1-15 追手門学院中等高等学校)／源 利文(5→3;305-8566 茨城県つくば市東1-1-1 中央第六 産業技術総合研究所生物機能工学研究部門生物時計研究グループ)／霜島太信(6→4;470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12 愛知学院大学教養部生物学教室)／嬉 正勝(2→7;840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学文化教育学部理数教育講座)／川嶋 剛(6→3;390-1241 つくば市東1-1-1 中央6-10 産業技術総合研究所脳神経情報研究部門DNA情報科学研究グループ)／岡田公太郎(3→3;113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院情報理工学系研究科)／鈴木敦子(6→3;236-0047 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学理学部機能科学科)／藤田 愛(5→1;060-0810 札幌市北区北26条西5丁目 北海道大学地球環境科学院生態遺伝学講座三浦研究室)／五味正志(6→6;727-0023 広島県庄原市七塚町562 県立広島大学生命環境学部環境科学科)／鈴木美和(3→3;252-8510 神奈川県藤沢市亀井野1866 日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科海洋生物生理学研究室)／川越 暁(3→5;565-8565 大阪府吹田市藤白台5丁目7番1号 国立循環器病センター研究所)／浦田 慎(4→6;722-0073 広島県尾道市向島町2445 広島大学大学院理学研究科附属臨海実験所)／佐々木隆広(2→2;980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-7 東北大学先進医工研究機構 生命機能科学)／黒瀬奈緒子(6→2;020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

岩手医科大学医学部法医学講座)／原 芳伸(2→2;980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1 東北大学大学院医学系研究科附属創生応用医学研究センター形態形成解析分野)／松原 創(1→3;516-0193 三重県度会郡南勢町中津浜浦422-1 独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所生産技術部繁殖研究グループ)／阿部 涉(1→3;271-8501 千葉県松戸市松戸648 千葉大学園芸学部応用動物昆虫学研究室)／井上 武(5→5;600-8815 京都市下京区中堂寺栗田93 京都リサーチパークサイエンスセンタービル3号館ガン研究所)／阿久津覚誠(3→3;192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 東京工科大学片柳研究所)／吉村和也(3→3;152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東工大 W3-42 西3号館6階604号室 東京工業大学大学院生命理工学研究科生体システム専攻進化統御学講座生体統御学分野本川研究室)／帆 莉 信(3→3;959-1861 新潟県五泉市粟島1-23 新潟県立五泉高等学校)／佐藤美穂(3→7;889-2192 宮崎市学園木花台1-1 宮崎大学農学部獣医学科家畜生理学講座)／葛西秀俊(3→5;650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1 神戸大学大学院医学部・細胞生物)／奥村栄朗(3→6;780-8077 高知県高知市朝倉西町2-915 森林総合研究所四国支所流域森林保全研究グループ)／近藤江里(2→3;238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1024 東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所吉田研究室)／平松宏明(3→3;192-0395 東京都八王子市大塚359 帝京大学医学部物理学教室)／鈴木研太(4→3;351-0198 埼玉県和光市広沢2番1号 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター高次脳機能発達研究グループ生物言語研究チーム)／松尾義和(6→6;724-0619 IWAD 環境福祉専門学校)／磯村尚子(3→7;903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理工学研究科日高研究室)／山崎真美(3→3;338-8753 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学)

「生物科学ニュース」の購読・ご利用のおすすめ

近年の生命科学の進歩はめざましく、新しい分野が次々と開かれ、その結果として新しい学会や雑誌が次々と設立・刊行されると共に、日々各種の会合がめまぐるしく催されております。もはや個々の学会や個人がこれらの情報を処理していける時期ではなくなってきております。

この時代に対処してゆくために「生物科学ニュース」は日本動物学会および日本植物学会の和文情報誌として、会員への情報伝達、広報はもちろん、生物学に関連した学会・国際会議・シンポジウム・講演会・研修会などの開催予定とプログラム、人事・研究助成金などの公募記事、書評、関連分野の動向などを中心に、幅広く生物科学関連ニュースをもりこみ編集・刊行されています。

「生物科学ニュース」は両学会の約5,000名の会員に配布されていますが、会員以外の個人の方あるいは機関でもご購入いただけます。この機会にぜひご購入くださいますようお願い申し上げます。ご送付先、お電話番号など明記のうえ下記あてハガキ、またはファックスなど書面でお申し込みくだされば折り返し請求書をお送り申し上げます。

記

「生物科学ニュース」 月刊（毎月20日発行）／B5判／毎号平均22頁

編集・発行 生物科学ニュース編集委員会 （日本動物学会・日本植物学会）

年間購読料 3,100円（税込・送料無料）

- ※ 購読料は原則として年間前払いをお願いしております。
- ※ ご希望の月号からご購入いただけますが、1月号から12月号までの12冊を一期間としますため、途中月号からのご購入の場合は初年度のみ月割の購読料となります。以降は購読中止のご連絡をいただかない限り翌年に自動継続し1月号から12月号のサイクルで更新させていただきます。
- ※ 機関購読の場合はご送付先にご担当の個人名をお入れください。
- ※ お支払いに際し特定の書類が必要な場合は作成いたしますのでご連絡ください。
- ※ 見本誌ご希望の場合はお送りいたします。
- ※ すでに購読ご登録の場合はご容赦下さい。

年間購読料 3,100円（改定された場合は別途ご案内します）

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル

(社)日本動物学会 (TEL 03-3814-5461 FAX 03-3814-6216)

(社)日本植物学会 (TEL 03-3814-5675 FAX 03-3814-5352)

関連記事掲載を御希望の方は、「生物科学ニュース」最新号を参照の上、記事を簡潔にまとめ、下記編集局宛にお送り下さい。編集委員会が関連記事と認めた場合には無料で掲載させていただきますが、様式の統一のため記事の手直しを行なうことがあります。なお、編集委員会では記事の要約表現の改訂を独自に行なうことがあります。また学会や研究会が独自の記事を出したい時には、その都度必要なスペース（“ひろば”欄）を買い切ることができます。“ひろば”の校正は買い切られた方をお願い致します。

○料金：1 ページ（2,000字） 40,000円

1/2ページ（1,000字） 20,000円

1/4ページ（500字） 10,000円

○記事送付先：〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル 生物科学ニュース編集局

○原稿をお送り下される場合、以下の点にご留意下さい。

1) 生物科学ニュースに原稿をお送りいただく場合は、生物科学ニュース編集局 (bsnews@bsj.or.jp) に、電子メールの本文または添付書類（テキストファイル、マイクロソフトワードまたはアップルワークス書類に限る。ファイル名に拡張子を付ける。）で、Subject に「ニュース原稿」と記入の上、お送り下さい。フロッピーディスクを郵送いただいても結構です。なお、修飾文字や特殊文字をご使用の際は、同時にプリントアウトしたものをファックス（03-3814-6216）にてお送り下さい。図表等のファイルについては、予めご相談下さい。書式等は生物科学ニュース最新号をご参照下さい。

2) 現在のところ、書評欄への投稿は受けつけておりません。

3) 掲載原稿の締切日（必着）は以下の通りです。

No.405 2005年9月号 2005年7月11日（月）

No.409 2006年1月号 2005年11月14日（月）

No.406 2005年10月号 2005年8月15日（月）

No.410 2006年2月号 2005年11月28日（月）

No.407 2005年11月号 2005年9月12日（月）

No.411 2006年3月号 2006年1月16日（月）

No.408 2005年12月号 2005年10月17日（月）

生物科学ニュース

No.403 2005年7月（月刊）

定価 270円（消費税込）

運営委員会

社団法人 日本動物学会 岡 良隆・久保英夫・大島範子 (<http://www.soc.nii.ac.jp/zsj/>)

社団法人 日本植物学会 佐藤典裕・加藤美砂子・園池公毅 (<http://bsj.or.jp/>)

編集委員会

社団法人 日本植物学会 太田尚孝・太田にじ・喜多陽子・澤 進一郎・加藤美砂子（幹事）

社団法人 日本動物学会 赤染康久・小畑秀一・佐藤 恵・服田昌之・久保英夫（幹事）

発行 (社)日本動物学会・(社)日本植物学会 生物科学ニュース編集委員会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2
東真ビル/FAX 03-3814-6216

印刷 昭和信息プロセス株式会社 〒108-0073 東京都港区三田5-14-3 TEL 03-3452-8451

購読申込：生物科学ニュース編集委員会／〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東真ビル
FAX 03-3814-6216
